



豊中市立第五中学校

SCRUM

66期生 第三学年 学年通信 第21号 2019.11.26

～皆で力を合わせて強く前へ前へ～



男女共生教育がありました

11月22日（金）の5・6時間目に保健所の方に来ていただき、男女共生教育を行いました。1年生では「誕生学」。赤ちゃんが産まれてくるまでの軌跡（奇跡）について学習しました。2年生では「デートDV」「性的マイノリティ」についてでした。男性・女性関係なく尊重することの大切さや「性」というものは必ずしも2つではないということ、それぞれ個性があってみんな違うのが当たり前であり、私たちは理解し受容を持つことが大切ということ学びました。3年生では「性感染症と避妊」について学習をしました。3年生の保健体育の保健分野の授業のなかでも「性感染症」の原因や予防は学習をしますが、保健所の方にはさらに詳しく話をしていただきました。



最初は保健所が何を行う機関であるのか教えていただきました。保健所では食中毒や感染症（性感染症）の対策、疾病の予防などを行っているそうです。話の中では青木先生が妊娠体験をし、「お腹が重くて、前に倒れそうになるし、それを支えるので腰が痛い」と言っていました。また、竹内先生の子供が生まれた時の話を聞きました。そして、実際に新生児の赤ちゃんを抱っこする体験も行いました。1年生や2年生の復習をし、避妊方法や、性感染症が広がっていくのはなぜかなど水の交換の実験をしながら教えてくださいました。

この先、進路を決定するように、自分で判断して行動しないといけないことが増えていきます。その分、みんなは責任がとれることが増えている証拠だと思います。しかし、勘違いしてはいけないのは、みんなは未成年であり、まだまだ責任がとれないこと、保護者の方を頼りにしていることもたくさんあるということです。自分の行動を見直し、さらには、この先の自分の生き方や性に関する考えを見直し、将来に役立ててほしいと願っています。



人権フェスタひまわり

活動報告



12月11日（水）の人権フェスタひまわりに向け、実行委員を中心に活動を行っています。今までは【タネ編】・【茎編】で行った、個人の振り返り、クラス目標の作成でした。

11月8日（金）、12日（火）【花編】の第一弾を行いました。中身は本番のお楽しみですが、作成の様子を写真で紹介합니다。班で協力して楽しく作業できていました。放課後や昼休みには実行委員（議員を含む）のみんなが作品の取り組み方や、活動報告新聞を発行するなど活動してくれています。みんながまだ知らない、実行委員だけの取り組みも行ってくれていますよ。卒業に向けた学年目標も決まりました。



百花繚乱

～最後まで立派にやり遂げる～



【意味】いろいろの花が咲き乱れること。転じて、秀でた人物が多く出て、すぐれた立派な業績がたくさん現れること。「百花」は種々の多くの花、いろいろな花の意。「繚乱」は花などがたくさん咲き乱れている様子いろいろな花が、はなやかに美しく咲き乱れることから。

11月26日（火）には【花編】の第二弾としてみんなの「決意」を込めた作品『花』を作りました。3年間で成長できたこと、できなかったことを考えました。そのことから卒業するときこんな姿で卒業していきたい！、こんなことをがんばっていきたい！というような「決意」を考えました。66期生のそれぞれの決意が、みんなの卒業に向けての大きな決意として発表されます。百花繚乱・・・みんなの花が最後（卒業するころ）にはなやかに咲き乱れますように・・・。